



新風会  
本田 順也 議員

### 問 少子高齢化問題による人口減少で今後の影響についてどのように考えか。

**Q** 車の運転免許証を返納する高齢者が増えている。交通手段となる公共交通機関は対応できているのか。

**A** 市や島鉄などではそれぞれに各種支援制度を設けている。本市の実情にあった地域公共交通構築のため、乗り合いタクシーの導入など検討している。

**Q** バスは、スーパーや病院で乗り降りできるような路線にするなど、工夫が必要ではないか。

**A** 高齢者の社会参加を促す意味でも、生活に密着した路線のあり方などを研究していきたい。

**Q** 道路や水道などインフラ整備に必要な財源等を確保できるのか。

**A** 住環境の維持は重要な施策であり、財源の確保に努めていく。

**Q** 空き家対策について、市の考えは。

**A** 売却や賃貸として利活用可能な空き家を「空き家バンク」に登録を進める等の施策を推進している。

**Q** 危険な廃屋に対する対応は。

**A** 建物の除却費用の一部を助成している。

**Q** ①後継者不足などで廃業する農家などをサポートできないか。②農家の声を集め、後継者を育成するシステムを構築できないか。

**A** ①担い手農家の確保、農地の集積は重要な施策。各種事業を組み合わせて取り組む。②農業を一次産業の柱として支援すべき。真剣に考えるべき問題だと認識。

**Q** 耕作放棄地への対策は。

**A** 農業委員会などで農地のあつせん、圃場整備事業による担い手への集積などを実施していきたい。

**Q** 労働力不足解消のために外国人を受け入れる制度は。

**A** 県では外国人の雇用・派遣に向けた特区制度を国に申請している。



日本共産党  
島田 一徳 議員

### 問 福祉行政について

**Q** ロタウイルス対策補助金制度の創設を。赤ちゃんが家庭の経済的都合で予防接種を受けられないことがないようにすべき。

**A** 国の定期接種化の動向や費用面を考慮し検討する。

**Q** ①小児科医確保の進捗状況は。②原因がわかれば対策は立て易い。医師に来てもらえない原因は何か。

**A** ①休日診療事業を実施。平成26年度からは島原病院で小児科診療が再開した。②地域医療では一人の医師に対する負担が大きいことなど複合的な問題がいくつかある。

**Q** 「介護保険料が高すぎる」という声が多い。対策は。

**A** 介護予防事業など、要介護認定者の増加抑制に取り組んでいる。

**Q** 「介護保険事業の施設使用料が

高すぎる」という声がある。対策は。

**A** 所得に応じた限度額を設けて負担軽減を図っている。

**Q** 広域行政圏組合を解散して市単独で運営しては。

**A** 半島内で同レベルでのサービス利用や保険事業の安定化等を図り、3市で行うことで人件費や電算等の経費節減効果もある。

### 問 国保財政の健全化と都道府県単位への移行について

**Q** 国は第3回の保険税急変を避ける試算方針を出したが、前回との違いは。

**A** より実態に近く、激変緩和措置等も試算されている。

**Q** 国保税は今後高くなるのか安くなるのか。

**A** 現段階では示せない。

**Q** 来年4月からスタートであると半年しかない。国は税率の一律化を指しているようだがどうなるのか。

**A** 将来的には統一保険料を目指す。現時点では各自自治体の判断で税率等を決定することになっている。